

## 第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

福岡市立小呂小学校 教諭 井上 歩美

### 1. 単元名 夢に向かって（1）

### 2. 単元の目標

- ・様々な人々の働き方や生き方が分かり、自分が夢を叶えるための具体的な進路が分かる。  
(知識・技能)
- ・探求的活動を通して、働き方や生き方に込められた人々の思いを考え、調べたことをもとに、どんな自分になりたいか文章で表現することができる。  
(思考・判断・表現)
- ・自らの意志で、自分のよさを生かしながら将来に向けての目標をもととする態度を養う。  
(主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

本単元では、「人の生き方」「私の夢」の2つを取り上げる。国語科の内容を掘り下げて調べ学習をしたり、児童の将来の夢である「教師として働いている人」に話を聞いたりする活動を通して、身近な人々の生き方や考え方に触れることができる。また、家族以外の大人へのインタビューを通して、児童のコミュニケーションスキルの向上を図ることができる。

さらに、児童自身の将来の夢を取り上げることで、学習に対する意欲を高めることができるとともに、自己実現のために何ができるのかを具体的に考えるきっかけをつくることのできるというよさがある。

#### (2) 児童観

本学年の児童は、島探検や島の特産物を調べる活動を通して、島のよさに目を向ける学習活動に多く取り組んできた。アンケートによると、総合的な学習に対する意欲は高く、「将来は先生になりたい」と回答するように、明確な将来の夢もある。しかし、「人の役に立つ人間になりたい」と回答しつつも、「地域や社会のために何をすべきか考えることがありますか」という設問には「あまりない」と答えたり、身の回りの出来事に比較的無関心であったりする姿がある。

また、指導にあたる教師の数が子どもの数よりも多いことから、学習が受け身になることが多く、自ら課題を見つけて学習に取り組む活動はあまりできていない現状がある。

国語科で宮沢賢治の生き方に触れ、「中学生くらいの年齢で自分の生き方を決め、それを貫き通したことはすごい」という感想をもち、同時期の他の作家の生き方に興味をもって調べ始めた児童にとって、小学校生活のまとめに入る前のこの時期に、自らの興味関心に従って、将来について考える本学習を行う意義は大きい。

### (3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず、国語科で学習した物語の作家等、児童の興味・関心に従って調べ学習を行い、作品には作家の多様な生き方や考え方が反映されていることを知る。そのうえで、アンケートで自分の将来や今の自分について現状を明らかにする。このことを通して、将来、就きたい職業に就くために、足りないことが多いとともに、どんな自分になりたいかまだ漠然としていることということを意識させたい。

次に、自分の夢や知りたいことをもとに児童が自らGTを選び、インタビューを行う。仕事内容や生き方について知ったり、まとめたりすることを通して、仕事をするには様々な資質・能力が必要であることや、出会いや出来事によって生き方を変えた人もいることに気付かせたい。

さらには、これらの活動を通して「夢を叶えるためにはどんな自分になっておいた方がいいのか」、と問い返し、なりたい自分になるための具体的な姿をGTに宣言することを通して、3学期の活動や卒業式の卒業生からの言葉にもつなげていけるようにする。

### (4) ESDとの関連

#### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性…よりよい生き方や生活のために、さまざまな考えをもって働いている人たちがいるということ。また、なりたい自分になるためには、多様な方法があるということ。

#### ・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

どんな自分になりたいのか考え、そのために小学校卒業までの目標を自分で考えて立てようとする。  
進んで参加する態度

夢を実現するために、進んで話を聞きたい人を見つけたり、聞いた話をまとめて表現したりしようとする。

#### ・本学習で変容を促す ESD の価値観

人権・文化を尊重する

誰もが平等になりたい自分になる権利があり、なりたい自分になるためには、具体的に行動を起こすことが大切である。

#### ・達成が期待される SGD s

8 働きがいも経済成長も



4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 島と関わる人々の働き方が分かる。 ② 夢を叶えるための具体的な進路が分かる。	① 自分の現状をもとに、調べたいことを自らの言葉で表現することができる。 ② 調べたことをもとに、どんな自分になりたいか考え、文章でまとめることができる。	① 人の生き方や思いに興味をもち、調べようとする。 ② どんな自分になりたいか考え、自らの将来に夢や希望をもとうとする。

5. 単元の指導計画（全13時間）

時	○学習目標 ・主な学習活動	○学習への支援	△評価 ・備考
1	○ 宮沢賢治の『やまなし』以外の他作品を読み、作品には生き方や考え方が関わっていることがわかる。 ・ 『やまなし』以外にも、生き方や理想が反映されていることを実際に確かめる。	○読みやすさも考慮し、児童には学校所蔵図書の中から選ばせるようにする。 ○「理想や思いが表れていると思う部分」に目をつけて読ませるようにする。	△ウ① (主体的) ・学習プリント
2 3	○ 同時期に生きた他の作家の生き方や考え方に触れることで、人の多様な考え方に興味をもつ。 ・ 賢治以外の作家の書いた作品から、学習したことを生かして考え方を読み取る。	○児童が興味をもった作家を調べさせるが、学習をしやすいように、資料選定を行っておくとともに、5年国語資料「やなせたかしーアンパンマンの勇気」も活用できるようにする。	△ウ① (主体的) ・ホワイトボード (ICT)
4	○ 自己分析やイメージマップ作りを行い、学習問題と学習計画を作る。 ・ 自分の好き (得意) なことと、苦手 (できるならしたくないこと) を書きだす。 ・ 「先生」についてのイメージマップづくり <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         学習問題 「先生」について調べよう。                     </div>	○児童の考えの変遷が分かるように、ICT をや学習プリント活用し、記録をさせるようにする。 ○問題提起につなげるため、「夢」はあるものの、知らないことが多い事に気づかせる。	△イ① (思・判・表) ・ホワイトボード (ICT) ・学習プリント
5 6 7	○ なりたい職種に就くための進路や、実際の仕事内容、興味をもった人物 (G T) の思いや考えが分かる。 ・ 進路について調べる。 ・ 先生の日調べ (仕事内容について密着取材をする)	○インタビューの様子等は動画に残しておき、いつでも児童が振り返ることができるようにする。 ○進路面と、仕事内容面の2側面から調べられるように、参考資料や、取材対象の選定を行っておく。	△ア①② (知・技) ・ホワイトボード (ICT)

見  
つ  
め  
る  
  
調  
べ  
る

	<ul style="list-style-type: none"> <li>取材で分からなかったことをインタビューする。</li> </ul>		
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことをまとめることで、自分がつきたい職種の仕事内容や働き方が分かる。</li> <li>調べたことを、ICTを使って整理する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(中学校の)先生は、資料の準備や授業をしているだけでなく、いろんな仕事をしている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回は、あくまでも進路や仕事内容についてのみの発表に留めるとともに、GTの進路についても話してもらえるよう依頼しておく。</li> <li>GTから新たに知ったことについては、随時イメージマップに付けくわえられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ア①② (知・技)</li> <li>・ホワイトボード (ICT)</li> </ul>
9 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>「教師として働くときに使っている力」について考え、学習問題を深めるための問いを作ることができる。</li> <li>仕事内容をまとめたマップを使って、「資質・能力」面の付加を行う。</li> <li>まとめた「資質・能力」と自分自身とのギャップや、GTの昔のエピソードを知る。</li> <li>どんな自分になりたいか考える。</li> <li>なりたい自分になるための学習問題を深める問いを立てる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【学習問題を深める問い】</b> 今、先生になっている人たちや、身の回りの人たちは、どのように苦手なことと向き合っているのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考の流れや付け加えが分かるように、付箋どうしをつなげることを提案する。</li> <li>スムーズに活動に入ることができるように、例示を準備しておく。</li> <li>問い返しを行うことで、児童自ら自分の課題に気づくことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎△ウ② (主体的)</li> <li>・ホワイトボード (ICT)</li> <li>△ア① (知・技)</li> <li>・ホワイトボード (ICT)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習問題を深める問いに対して、いろいろな答えを集めることができる。</li> <li>児童が選んだ様々な人達に、「苦手なこと克服インタビュー」をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるだけ、いろんな方法を集めるためにも、いろんな人に話を聞くことを提案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ウ② (主体的)</li> <li>・学習プリント</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことをまとめ、自分にできそうなものを決めることで、自分の言葉で表現しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡市の動画を活用し、児童の興味関心にしたがって動画を選んでもらうようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ウ① (主体的)</li> </ul>

深

め

る

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事についている人や関わってくれた方々からの今の自分に向けたメッセージを聞き、自分のよさやがんばりたいことを見つめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「夢をかなえたい」という将来に対する希望と、活動に対する主体性を持たせるために、関わってもらった方々からの応援メッセージを視聴させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリント</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>
12 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「私の宣言」を作り、関わってもらった方々に発表することができる。</li> <li>・まずは6年生で頑張りたいことを決める。</li> <li>・GTに向けて発表をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習成果物を掲示し、なりたい自分になるために、残りの小学校生活でどんなことに取り組んでいきたいか具体的に決めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△イ②</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・学習プリント</li> </ul>

発表する

【資料1】本時指導案（形式：本校研修用）

過程	主な学習活動と内容	○指導・支援 ※ICTの使用 ☆見る視点
① 見 つ め る	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【めあて】「先生」になるために、どんな力が必要か考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時をふり返し、意欲と見通しをもたせる。</li> <li>☆ 教師の発問から、今日のめあてを自分なりにもつことができているか。</li> </ul>
	<p>2. 予想をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習中に制作したマップを開く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分のイメージマップなど学習成果物を使いたいという気持ちをもたせるため、「方法の見通し」を立てさせる。</li> <li>☆ 学びの見通しをもっている。 (児童の発言)</li> </ul>
② 調 べ る	<p>3. 考えを作る。</p> <p>(1)自分なりに考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことを、「中学校の先生が仕事で使っている力」という観点で見つめ直し、考えを付加する。</li> </ul> <p>(2)自分の考えたことを言葉で説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①クロムブックで発表準備</li> <li>②発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時までの活動や、宿題でまとめた付箋をもとに、考えを付加させたり、関係があると思うところどうしを線でつなげたりする。</li> <li>○ 考えたことと調べたことを区別するため、付箋の色をカテゴリーごとに分けることを提案する。</li> </ul> <p>☆自分の言葉でまとめている（各付箋の関連性）。</p> <p>※Miro</p>

<p>③ 深める</p>	<p>4. 以前の自己分析をもとに、自分の課題を見つめ、「解決したい」という意欲をもつ。</p> <p>(1) 自己分析をふり返る。  (2) GTとして取材をした人の「昔の自分」エピソードを聞く。  (3) (2) をうけて感想をもつ。  「今はこんなに力をもって仕事をしていても、子どものときはできなかったんだ。」  「どうやって克服したのだろう。」</p> <p>5. 学習をまとめ、学習問題を深めるための問いを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習問題を深めるための問い】  今、先生になっている人たちや、身の回りの人たちは、どのように苦手なことと向き合っているのだろう。</p> </div>	<p>○ 自己分析を見直せるようにデータにしておき、後からの児童の意欲づけのきっかけになるようにする。</p> <p>☆新たに深めたいことを自分の言葉で発言し、まとめている（児童の発言）。</p>
<p>④ 振り返り</p>	<p>6. 学習の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たにわかったこと</li> <li>・わかったことから、考えたこと</li> <li>・次に考えてみたいこと</li> </ul>	<p>※ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">振り返りスライド</span></p> <p>☆ 学習を振り返り、本時の学びを実感している。（振り返りの記述）。</p>

【資料2】GTの関わり GT：本校 中学校教諭（社会科）

時	関わり方
4	<p>○ GTの選出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の興味・関心に従って選出し、依頼する（打ち合わせ込み）</li> </ul>
6 7	<p>○ 取材対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日、児童から取材を受け、仕事内容について質問をうけたり、補足説明をしたりする。</li> <li>・児童が取材をしての感想等の発表を聞いてもらい、自分の進路選択や仕事に対する思いについて話す。</li> </ul>
9	<p>○ ビデオ出演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事をする上で、一番必要だと思った力</li> <li>・小学生の時に苦手だったこと、得意だったこと</li> </ul>
10	<p>○ 取材対象（児童が選んだ場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手の克服の方法</li> </ul>
13	<p>○ 発表相手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学習成果物の発表を聞き、感想や励ましの言葉をもらう。</li> </ul>

## 6. 成果と課題

### (1) 指導の実際

#### 【見つめる段階】

- ・ 国語科「やまなし」の資料「イーハトーヴの夢」を読んだ時に、「他の作家についても、生き方や考え方を調べたい」という思いを自発的にもち、家庭学習で多読に取り組む等、主体的に学習に取り組む様子が見られた。また、調べた人物の生き方を自分の言葉でまとめ、「いろんな生き方や思いがあり、さらに表現物にはその人の思いや考えが表れている」という感想をもっていた。
- ・ 自分の将来の夢について、就きたい職業とその理由を担任に向けて発表した。

#### 【追求する段階】

- ・ 興味関心に合わせて、「将来就くかもしれない職業に就いている人の仕事内容や進路を知りたい」という思いをもち、自分でGTを選んだ。
- ・ GTへの取材では、様子を1日観察して「GTは職員室にずっといるのではなく、いろんな仕事をするために、意外と動いていた」という感想をもった。また、臨機応変に動いている姿も見つけていた。

#### 【深める段階】

- ・ 教員の資質能力面に目をつけて、仕事内容を捉えなおした。その際、「ICTを使用した」「人と話す力」「読む力」「パソコンを使う力」「対応する力」等を見つけ、その中から、自分が得意だと感じた力と、苦手だと感じる力を選んだ。
- ・ 「苦手なことをなくしたいが、どうしたらいいかわからない」等の様子は見られたものの、具体的に改善したいという主体的な姿はなかった。

#### 【発表する段階】

- ・ 調べてきたことをスライドにまとめ、自分の考えも入れながらGTに向けて発表した。

### (2) 考察(成果○、課題●、→改善点)

#### 【本単元の目標より】

- 児童や地域の実態、興味・関心に合わせて題材を設定したことで、意欲的に探究的活動に取り組むことができたこと。

児童の振り返りシート

: 第5時 GTへの取材をしたときの振り返りシート

振り返り	11月	15日(水)
○ 自分から調べ学習に取り組みましたか。	3	2 1
○ 新たに分かったことの中で、1番印象に残ったことは何ですか。	最初は机で資料を作っているだけだと思っていたけど自分が思っていたよりけっこう動いていたことです。	
○ もっと知りたいと思うことは何ですか。	金曜日にインタビューで進路を聞くのが楽しみです。	

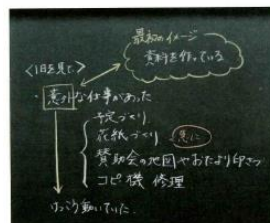


図1：第6時板書

めあて  
調べたことをまとめ直し、自分の考えをこつ。

図2：第7時学習プリント

○ 仕事内容を改めて分け直したことで、気づいたことを書きました。

分類し直したのを見て、全体を見るとこんな事をして？  
など思いました。特に意外なものは危険性や  
リソースの仕事を思いました。

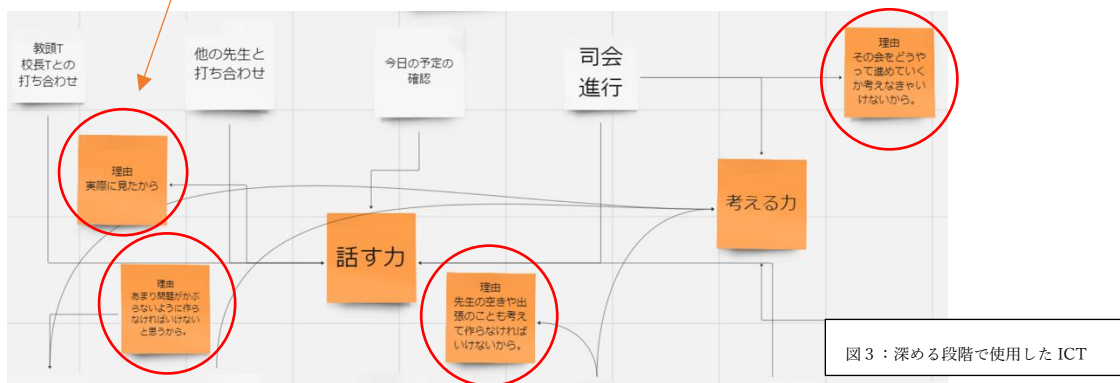
- 作家も含めたいろいろな「人」と出会わせることができ、多様な生き方や考え方があることを児童自身が自覚できたこと。

- 「自らのよさ」ではなく、「なりたい自分になるためには、苦手を少しでも克服する必要がある（今のままではいけない）」という点に焦点を当てた学習指導になってしまったため、児童の実態に合っておらず、自ら行動したいというところまで行きつかなかったこと。

→【資料3】として、改善指導案（案）を提示

【ICTの活用について】

- 「即時に可視化できる」「家庭学習で予習（調べ学習）ができる」「学習の記録ができる」等の特性を活かした実践をすることができたこと。
- 児童の実態に合わせて、自分の考えを書き表しやすくなったこと。
- 理由の部分の問い返しができず、考えの根拠となる部分を残すことができなかつたこと。  
→問い返しを行い、根拠となる部分も文章で残すこと。ICTと紙の学習プリントの併用方法については、模索中である。



【単元全体を通して】

- 他教科とも関連させながら、児童の興味・関心に合わせて学習の導入をしたり、3学期の単元につなげたりできたこと。（※カリキュラムマネジメント参照）
  - 地域の「人」とのつながりを強く感じる授業構成ではなかつたこと。
  - 「将来の夢」という遠い未来を取り扱ったことで、自分事としての終末への帰着が甘くなつてしまつたこと。
- 児童にとって大きな区切りである「卒業」を使い、「どんな自分になりたいか」「そのために残りの期間で出来ることはないか」という点を丁寧に考えさせる必要があつた。

【資料3 単元計画改善案 ※本時以降、訂正箇所は赤で表示】

時	○学習目標 ・主な学習活動	○学習への支援	△評価 ・備考
9 本 時	○「教師として働くときに使っている力」について考え、 <b>夢に近づくための自分の課題が分かる。</b> ・仕事内容をまとめたマップを使って、「資質・能力」面の付加を行う。 ・まとめた「資質・能力」と自分自	○思考の流れや付け加えが分かるように、付箋どうしをつなげることを提案する。 ○スムーズに活動に入ることができるよう、例示を準備しておく。 ○問い返しを行うことで、児童自ら	◎△ウ② （主体的） ・ホワイトボード （ICT） △ア① （知・技）



	<p>身とのギャップや、GTの昔のエピソードを知る。</p> <p>・夢に近づくために、卒業までにどんな自分でありたいか考える。</p>	<p>自分の課題に気づくことができるようにする。</p>	<p>・ホワイトボード (ICT)</p>
<p>【目標を達成したと考えられるふりかえり】</p> <p>私は先生の仕事をするときに使っていた〇〇という力が苦手です。卒業までに、すこしでも克服してたいです。</p>			
10	<p>○今の自分に必要なことが分かる。</p> <p>・仕事についている人や関わってくれた方々からの今の自分に向けたメッセージを聞き、自分のよさやがんばりたいことを見つめる。</p>	<p>○福岡市の動画を活用し、児童の興味関心にしたがって動画を選んでもらうようにする。</p> <p>○「ありのままの自分でいいんだ」という将来に対する希望と、活動に対する主体性を持たせるために、関わってもらった方々からのメッセージを視聴させる。</p> <p>○なぜ、「得意なことをのばして」と共通して言っているのかを考えさせる。</p>	<p>△ウ② (主体的)</p> <p>・学習プリント ・振り返りシート</p>
11	<p>○調べたことをまとめ、自分にできそうなものを決めることで、自分の言葉で表現しようとする。</p> <p>・自分のよさをふまえて、卒業までに頑張りたいことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>○卒業までの日数や予定を提示することで、必要感をもたせられるようにする。</p>	<p>△ウ① (主体的)</p> <p>・学習プリント ・振り返りシート</p>
12 13	<p>○「私の宣言」を作り、関わってもらった方々に発表することができる。</p> <p>・まずは6年生で卒業までに頑張りたいことを決める。</p> <p>・GTに向けて発表をする。</p>	<p>○学習成果物を掲示し、なりたい自分になるために、残りの小学校生活でどんなことに取り組んでいきたいか具体的に宣言させる。</p>	<p>△イ② (思・判・表)</p> <p>・学習プリント</p>

深  
め  
る